

令和6年度地下水の水質測定結果について

令和7年12月25日
環境・ゼロカーボン推進課

愛媛県環境審議会の答申を受けて策定した「令和6年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき調査した結果は、次のとおりでした。

- 1 調査期間 令和6年4月～令和7年3月

- ## 2 実施機関 愛媛県、松山市、国土交通省

3 調査結果の概要等

(1) 繼續監視調查

ア 調査地点及び測定項目

調査機関	地点数	環境基準項目	要監視項目
愛媛県	44	3 ^{※1}	—
松山市	11	6 ^{※2}	—
国土交通省	6	28 ^{※3}	21 ^{※4}

※1 砒素、テトラクロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

※2 1,1-ジクロエチレン、1,2-ジクロエチレン、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、クロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

※3 カドミウム、全アン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロタン、四塩化炭素、クロロフェン（塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエタン、1,2-ジクロロベンゼン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロフェン、テトラクロロフェン、1,3-ジクロロプロペン、チアム、シマジン、チベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジメチル

※4 クロホルム、1,2-ジクロロロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキチオン、ダイズリン、フェニトロン、イソプロチオン、林シシ銅、クロタニル、プロピザミド、EPN、ジクロロバス、フェブカルブ、イプロベンホス、クロトリロフェン、トルエン、キシレン、フルキサソニルエチルキシル、ニッケル、トリブデン、アンチモン

イ 調査結果（基準超過地点）

環境基準項目については、調査を実施した61地点において、テトラクロロエチレンが2地点、砒素が1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が7地点で、基準を超過した。

(令和5年度は、テトラクロロエチレンが1地点、砒素が1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が6地点で超過)

要監視項目については、調査を実施した6地点において、指針値の超過はなかった。

・テトラクロロエチレン

(単位: mg/L)

調査機関	調査地点	令和 6 年度	令和 5 年度	環境基準
松山市	松山市生石町	0.015	0.016	0.01 以下
	松山市松前町 4 丁目	0.026	—	

• 砒素

(単位: mg/L)

調査機関	調査地点	令和6年度	令和5年度	環境基準
愛媛県	宇和島市伊吹町	0.019	0.023	0.01 以下

・ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

(単位：mg/L)

調査機関	調査地点	原因	調査結果		環境基準
			令和6年度	令和5年度	
愛媛県	今治市伯方町叶浦	施肥	17	18	10 以下
	今治市上浦町井口	施肥	12	13	
	越智郡上島町生名	施肥	22	22	
	越智郡上島町岩城	施肥	11	9	
	伊予郡砥部町川井	施肥	18	18	
松山市	松山市津和地	施肥、生活排水	19	17	
	松山市吉藤4丁目	施肥、生活排水	20	20	

(2) 概況調査

ア 調査地点及び測定項目

調査機関	地点数	環境基準項目	要監視項目
愛媛県	10	5※	—
松山市	9	28	25

※ 砒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、PFOS及びPFOA

イ 調査結果

環境基準項目については、調査を実施した19地点において、環境基準を達成した。
要監視項目については、調査を実施した1地点において、指針値の超過はなかった。
※PFOS及びPFOAの調査を実施した11地点において、指針値の超過はなかった。

(3) 継続監視の終了に係る汚染井戸周辺地区調査

ア 調査地点及び測定項目

調査機関	調査地点	地点数※	環境基準項目
愛媛県	伊予市下吾川	2	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
	四国中央市三島	3	テトラクロロエチレン

※継続監視調査地点を含む。

イ 調査結果

調査を実施した5地点において、環境基準を達成した。

(4) ダイオキシン類調査

ア 調査地点

(単位：pg-TEQ/L)

調査機関	調査地点	調査結果	環境基準
松山市	松山市市坪南1丁目	0.070	1 以下

イ 調査結果

調査を実施した1地点において、環境基準を達成した。(令和5年度も同様)